

## 第4期幸区区民会議第6回専門部会（暮らしの安全部会）

日時 平成25年4月19日（金）午後6時30分から

場所 幸区役所3階第4会議室

### 議 事 次 第

1 （仮称）マイ防災マップの作成に向けた検討について

2 自転車マナーの向上に関する取組の検討について

3 その他

## DIGにおける確認事項集約

	作成する地図について			進め方について			必要な道具について	その他自由記入	
	地図にどのような内容を落とし込んでいるか。	どのような場所を危険と想定しているか。	各項目の記入の仕方(シールや付箋紙など色や道具の使い分け方)	全体的な進め方について(地域の危険箇所などの確認から、発表、まとめまで)	グループでの作業中、消防署の職員はどのような観点で助言をしているか。	各プログラムの時間配分がどうか。	生徒の姿勢や関心はどうか。		カラーシールやマジック、付箋紙など必要な道具、他にこんなものがあったらよいなど。
近藤委員	・自宅(白) ・道路(茶) ・細道(ピンク) ・川(青) ・線路(黒) ・学校・公園(緑) ・危険箇所(赤)	・ブロック塀 ・橋 ・土砂崩れ	・緑:病院 ・黄:独り老人・外国人	各班について消防士の方の説明・指示で円滑に進められた	・古い建物 ・住宅密集地	ちょうどいい、あまり長くてもだらけてしまう	作業に入ったら熱心に取組んでいた。	まとめの前段階に記入できる用紙	
押山委員	・自宅を白いマーカーで示す、各自の名前記入 ・中央道路:黄 ・細い道路:ピンク ・河川:青色 ・官公庁、公共施設、病院、自治会館、交番、社会福祉施設:緑 ・要援護者 ・危険な施設:赤	・ブロック塀が崩れる ・木造の古い家 ・がけ ・加瀬山 ・傾斜地		地図で確認しながら進めればよいのに要領を得ない	・なかなか一生のうちには体験できないことなので楽しむように ・地域の代表だからイメージするように	グループによって進捗度が異なり、消防署員と生徒の取組方で出来の違があるよう	・一様に熱心に取組んでいる ・いかに災害を軽減するか各自考える	・ビニールシート2枚 ・マジック1セット ・カラーシール大中小セット	
鈴木委員	①まず、それぞれの自宅を白シールで落とす。マーカーで名前を書く。 ②大きい道路を茶色マーカーで書き込む。公園を緑で書く ③公共施設(小学校、交番)を緑シール ④災害時に役立つ場所(防災倉庫?)を青シール ⑤危険な場所に赤シールを貼る ⑥震度6強の地震が起きた時	自分でどこが危険と感じたところ(イメージ)とこのこと	安全:緑⇒危険:赤との想定でよいと思う	全体的に時間が足りない感があるが生徒の集中力にも配慮が必要なため、仕方が無いかと思う	・強風時であったら ・ブロック塀が崩れたら ・ガソリンスタンドでは ・工場はどうなった(火気のある) など天候も条件に考えを指導していた	落とし込み、書き込みの時間はもう少しあったほうがよいと思う。ただし、生徒の集中できる時間は限りがあり、長くするとは限らず、地図を学区全体ではなく小さくする等の工夫が必要と思った。	消防署で用意したものでよいと思う。私たちも同じ視点で使用するほうが良い(生徒たちに違和感がないよう)。今回落とさなかった事案(マンホール、消火栓他)についてのみ新しい色のシールを使用		
三堀委員	・公共施設 ・避難場所 ・道路(国道、県道、市道・色別にする) ・危険箇所 ・要援護者(外国人含む)	・橋梁 ・重化学工場 ・崩落性の高い崖 ・倒壊性の高い土塀 ・ブロック塀 ・工事中の建造物 ・住宅(平屋木造)密集地	・グリーン:避難場所、役所 ・赤:危険箇所	中央のマイク指示の進行と、グループ毎の進行が円滑でなかった	・地域防災の強弱 ・地域のコミュニケーションの促進	対象地域が広範なのか指定箇所で議論するケースが多かった	比較的女生徒が積極的であった	・カラーシール大・小 ・マジック太・細 ・付箋紙大・小(色別に) 全体的に多すぎる	生徒は中央マイクの指示とアドバイザーの助言が重なり聞きにくい

※日吉中学校での災害図上訓練(DIG)の実施について

日時 3月12日(火)午前9時50分～11時40分(2・3時限目)

場所 市立日吉中学校体育館

対象 日吉中学校2年生99名

**(仮称)マイ防災マップづくりワークショップの実施に向けた検討内容****【検討内容】**

- 1 地図の使用目的
- 2 マップに落とし込む内容
- 3 マップの体裁について
- 4 まち歩きについて
- 5 マップ作成時について
- 6 タイムスケジュール
- 7 関係者との連携

**1 地図の使用目的**

○中学生が、どこにいるとき、何をするために使うか

例) 中学生が自宅にいるとき、安全に避難所に行くために使う など

○平常時に、マップをどのように保管・活用してほしいか

例) 壁に貼る、持ち歩く、収納して保管する、家族で確認できるよう共通の場所に保管 など

**2 マップに落とし込む内容**

※目的を踏まえて載せる項目を検討!

- ・【安全な場所】 広い空間（駐車場、公園、広場など）
- ・【災害時役立つ場所】 消化栓・消火器、防火水槽、井戸、公衆便所、公衆電話、薬局  
コンビニ・スーパーなど
- ・【危険な場所】 ブロック塀、急傾斜地、ガラス張りの建物、土砂崩れ、橋、工場など
- ・【公共施設等】 道路、官公庁、河川、線路、学校
- ・【要援護者】

例

### 3 マップの体裁について

サイズ

形状・紙質

### 4 まち歩きについて

- ・歩くルート
- ・グループ数
- ・マップへの記録方法

例) 班ごとに記録者を定める、一人ひとり記録するなど

### 5 マップ作成時について

- ・マップへの落とし込み方 (色や記載の方法)
- ・まとめ方: 全員で1枚のシートに記入してまとめていく、各個人で自分の地図をまとめていく
- ・必要な道具 (マジック、シール、付箋紙など)



部会での意見	内容の詳細	部会での議論のポイント	検討結果・課題等
自転車の日の制定	<ul style="list-style-type: none"> <li>幸警察署や交通対策協議会、地域等と連携し、街頭で自転車に乗っている人にチラシを配布するなどの意識啓発活動を実施</li> <li>イベント時に、自転車マナーの啓発活動等を実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な実施内容や実施主体の検討</li> <li>既存の取組との位置づけの整理</li> </ul>
警察と連携したマナーPR活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>人が多く集まるところに立って、チラシ配布などの意識啓発をする。</li> <li>チラシを配る際には警察にも立ち会ってもらわなければならない。そうでないと、なかなかチラシを受け取ってもらえない。</li> <li>今後の展開として、幸警察とタイアップしていくなどの方向性も検討の余地がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○警察との役割分担のあり方</li> <li>○区民会議・警察以外の参加</li> <li>○チラシの内容</li> <li>○実施する場所(鹿島田周辺以外でも実施するか。)</li> <li>・鹿島田駅前では、有償ボランティアに活動してもらうように調整をしているほか、周辺の小中学校と連携して啓発活動を実施する方向</li> <li>・有償ボランティアの方々にも、作ったチラシを配布してもらうことはできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区では地域団体とキャンペーン等を実施している</li> <li>・新たな活動を展開する場合、実施主体の検討必要</li> </ul>
回覧板を活用したマナーアップPR活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシの他に、町内会・自治会に回覧板を回してもらうなどはどうか。</li> <li>・回覧板なら粗品も不要で金銭面での課題もない</li> <li>・罰則などを説明するような内容を回覧する、全戸配布するなどは効果がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○どのような内容を中心に啓発を行うか</li> <li>○街頭でのチラシ配布を行う場合、内容は同じものとするか。</li> <li>○対象とする町内会・自治会のエリア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幸区交通安全対策協議会にてマナー啓発のチラシを作成し、回覧済(H23年度)</li> </ul>
罰則規定を含む条例の制定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マナーを向上させるには、厳罰化が必要</li> <li>・高校生以上の大人については、注意をしても聞いてもらえない。</li> <li>・「自転車の自賠責保険の導入」「交通違反の罰則細分化」の2つが必要</li> <li>・区民会議では、「条例を変え、罰則を細分化していくこと」を提言したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政令市では福岡市など、首都圏近郊では市川市などが条例を制定しており、全国計で10数都市が条例を制定している。</li> <li>・しかしながら、「罰金」の設定については、いずれの都市でも条例化できていない(議論はあるが、現行法との兼ね合いから難しい状況)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践による課題解決につながらない</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お年寄りの自転車も危険なケースが多い。</li> <li>・2人乗りは原則禁止だが、乳幼児3人も乗せて走っている人など(合法でも)危険は大きい。警察側が取締りの策を用意できていない。</li> <li>・取組を行うだけでなく、これまでの取組の「振り返り」も大事</li> <li>・インパクトを与えることも重要なので、幸区で全国に発信するような大胆な取組を行っていくことも検討の余地がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「お年寄りの自転車走行」「複数の乳幼児を乗せた走行」など、ルール(法規)やマナーとは違う切り口の「安全啓発」を内容に入れるか。</li> </ul>	



○多様な主体が連携して意識啓発を行っていくための仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「8の日」など、自転車をイメージしやすい日を設定すれば、いろいろな主体の方々が連携して、かつ持続して取り組んでいく方向に持っていける。</li> <li>・その他にも、町内会・自治会と連携することなども考えてみてはどうか。</li> </ul>
○違反などに対する取り締まりの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間走行時は前照灯を点灯させなければいけないため、前照灯を点滅させるのみで走行するのは違反になる。そういったあまり知られていないが、実際には違反となる行為について、啓発をしていったらどうか。</li> <li>・実際には厳罰化が必要。もっと簡単に取締まることができるようにすべきで、駐車監視員などに権限を持たせられないか。</li> <li>・厳罰化は難しいので意識啓発を中心に実施していく方がよい。</li> </ul>
○具体的な実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車のルールが変わったことをチラシ配布で啓発するなどはどうか。</li> <li>・リレーカーニバルなどで、自転車のマナーの実体験コーナーなどをやったほうがよい。</li> <li>・入学シーズンなどに合わせて啓発イベントを実施していくべき。</li> </ul>

これらの検討を踏まえ、次のように提言をまとめた。

(継続テーマ「自転車の通行マナーを向上させる取組の推進」の提言)  
 「定期的かつ継続的な意識啓発活動を展開し、区民の自転車マナーの向上を促進する」

**第4期幸区区民会議**  
**平成25年度スケジュール**

資料4

平成25年4月19日現在

月	日	曜日	全体会議	企画運営部会	【暮らしの安全部会】	【みんなで見守りたい】
4月	19日	金			第6回	
	22日	月				第6回
5月	24日	金			第7回	
	29日	水				第7回
6月	24日	月		第3回		
7月	8日	月	第4回			
8月	7日	水			第8回	
	9日	金				第8回
9月	20日	金			第9回	
	25日	水				第9回
10月	30日	水				第10回
11月	1日	金			第10回	
12月	10日	水				第11回
	13日	金			第11回	
1月	20日	月		第4回		
2月	3日	月	第5回			
2月	17日	月		第5回		
3月	16日	日	区民会議フォーラム			

※現時点での開催スケジュールです。